

マンガピットで読めます /

これも学習マンガだ! 大人も学べるマンガ入門

第19回

マンガピットを運営する一般社団法人マンガナイトの連載です。

ジャンル： 社会

『加治隆介の議』

著者：弘兼憲史
出版社：講談社



企画監修：山内康裕
(マンガナイト代表・「これも学習マンガだ!」事務局長)
構成：松尾奈々絵(マンガナイト理事)

『加治隆介の議』は、『島耕作』シリーズでお馴染みの弘兼憲史さんが描いたマンガで、サラリーマンが政界に進出し、議員、新党党首、そして首相に上り詰めていくストーリーです。1990年代に連載されており、現在とは違う選挙制度が描かれています。当時の事件や世相も反映されていて、その様子も知ることができます。

主人公の加治隆介は大物政治家の息子で、一流商社のエリートサラリーマンとして活躍している

した。しかし、父と、政界に進んでいた兄を突然の自動車事故によって亡くします。加治隆介は紆余曲折がありながらも、衆議院選に出馬することに。そして「事故が他殺だったかもしれない」という事件の謎を追いかけながら、「自らの理想」を掲げ、政治家として動き出します。

日本で「政治家」という言葉に、いいイメージを持っている人はそもそも少ないようです。NHKで行われた政治意識についてのアンケートでは、「現在の政治に全体と

して満足しているか?」という質問に対して、50パーセントが「あまり満足してない」、25パーセントが「まったく満足してない」と回答。その理由に「政党や政治家が信頼できない」「政治家の質が低い」「政治家にいいイメージがない」などが挙げられていました。

作者の弘兼さんはあるインタビューで、本作を通して最も描きたかったのは「普通の人が知らないような政治家の日常」と伝えていきます。何時から何時まで国会に行くのか、週末は何をしているのかなど、普段のニュースでは取り上げられない、リアリティのある政治家が描かれることで、読者は政治の世界を身近なものとして知ることができます。

「自分は政治をどう考えるのか」「自分は政治家にどうあつてほしいか」を考えさせられるマンガなので、政治に興味のない人にこそ手にとってほしい作品です。



マンガピット!

Manga Edutainment

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

「これも学習マンガだ!〜世界発見プロジェクト〜」に選出された作品を中心に学びにつながるマンガや学習マンガを楽しめる読書空間です。名作から近年のおすすめのマンガを約7000冊そろえました。かつてトキワ荘のあったエリアで、ゆっくりとマンガを楽しんでみませんか?

これも学習マンガだ!
Manga Edutainment

マンガナイト
BOOKS

